

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392500332
事業所名	認知症高齢者グループホーム どんぐりの森

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	目浴会の加入はないが、運営推進会議を通じて情報を得て地域のお祭りや防災訓練に参加し交流に努めている。多目的ホールを地域に開放し、近隣のサークルやボランティアの練習に、又、踊りや楽器演奏、歌、そば打ちや生け花、水彩画や仏画教室といった多種のボランティア訪問に活用されている。近隣中学生の職場体験も受け入れ、施設内「どんぐり喫茶」では毎週開催の「おれんじプラスカフェ」で相談や交流、10月には認知症サポーター講座の開催で認知症の啓蒙等に努めており、地域に開かれたホームとなっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は年に6回、地域包括支援センター職員、民生委員、自治会や校区地域連絡会、家族代表、病院、老健施設などの参加を得て3事業所合同で開かれ、事業所の概要や利用状況を伝えたり、イベントや活動報告をしている。法人の新規事業やサービス付き高齢者住宅開設、地域事業についても丁寧に説明している。取組み内容に関する質疑応答も活発で、よりホームの実状の理解につながる内容となっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市関係機関とは日常的に書類提出や相談事で訪問したり、連絡をとっており、何かあれば相談できる関係が構築されている。市認定のカフェの登録は地域の方の交流から入居に繋がる多種多様な相談に応じられる貴重な場となっている。研修や講習会の案内は伝え、希望する職員が参加できるよう調整し、同業者との交流や情報交換もできる大切な場として位置付けている。介護相談員の受け入れで外部からの意見も参考にしながらサービスの向上に努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	意見や要望は家族の面会時に聞くようにし、連絡が取りにくい場合は情報伝達や収集は電話連絡し、共有している。出された意見は、家族や利用者の思いを大切にしながら対応を職員と話し合い、その結果を丁寧に説明し理解を得るようにしている。現在は開催されていないが、家族が交流できる場を企画していきたいと考えている。日常の様子がわかる写真や介護の豆知識、ボランティア便り、介護施設や住宅に関する特集ページや行事案内の盛り込まれたホーム便り「どんぐり広場」は1年に4回、季刊発行している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	○	○	○		